

安全だより

無事故・無災害を目指して

2017年度(平成29年度)(第5号)

発行日：2018/3/26

発行：福山市新涯町二丁目21番30号

(公社)福山市シルバー人材センター

安全委員会

TEL (084) 953-5222

FAX (084) 953-5233

2017年度(平成29年度)総括

(1) 事故発生状況

今年度の事故発生件数は、3月23日時点で傷害事故(9件)、賠償事故(7件)、熱中症事案(3件)、車両事故(2件)を含め、全件数は21件となり、昨年度の24件と比較し、3件減少しました。

なお、過去5年間の傷害及び賠償事故の発生状況は次の表のとおりです。

【過去5年間の傷害・賠償事故発生状況】

年度	傷害	(内途上・ 帰途)	賠償	合計
2013	9	(5)	10	19
2014	5	(3)	5	10
2015	16	(5)	5	21
2016	12	(3)	8	20
2017	9	(2)	7	16

(2) 事故の傾向

傷害事故は、昨年度と比較し12件から9件へと3件減少していますが、主要な要因である「就業途上・帰途」の事故は、1件減少し2件であったものの、「墜落・転落」、「転倒」事故は昨年度と変わらず4件、改善傾向が明らかとは言い難い

状況です。

また、賠償事故の主要な要因である「剪定鋏・トリマー等による断線」事故は、今年度は発生していませんが、「刈払機による飛散」事故は、昨年度の5件から4件へと1件減ったものの、賠償事故全体の半数以上を占めており、安全対策の徹底が大きな課題となっています。

【過去5年間の統計による事故の主要要因】

① 傷害事故(過去5年間の主要要因)

事故の内容	発生率
就業途上帰途の事故	35.3%
(内 自転車・徒歩)	(17.6%)
(内 自家用車)	(11.8%)
(内 バイク)	(5.9%)
墜落・転落事故	19.6%
転倒事故	19.6%
合計	86.3%

② 賠償事故(過去5年間の主要要因)

事故の内容	発生率
刈払機による飛散事故	52.9%
剪定鋏・トリマーによる断線事故	17.6%
物の落下・接触による賠償	14.7%
合計	85.2%

(3) 発生状況

事故の内、就業途上・帰途の事故のように相手があるものを除けば、大半の事故は、注意し、対策さえ講じれば防げます。

事故後の聴き取りでは、「今まで対策をしていなくても事故が起こらなかったのも、今回も大丈夫と思った」等、具体的な防護対策は講じず、自分の経験則だけで安全を判断しているケースが目立ちます。また、リーダーやグループ員も防護対策を講じていない会員に対し、注意・指摘を行っていないことが挙げられ、安全意識の低さとともに安全意識が共有されていないことが浮き彫りとなっておりま

(4) 今後の対策

安全委員会で検討した結果、「事故ゼロ」を目指すには、安全研修やリーダー研修の充実はもちろんのこと、「各グループの普段の作業状況を点検し、安全対策の実施の有無を点検し、必要な指導を行うことが最優先である」との結論に至り、安全パトロールを強化することとしました。

具体的には、新たに定めた「安全パトロール実施要領」に基づき、安全委員を3班に編成し、年間10回程度、1回当たり2箇所のパトロールを事前予告なしに行います。必要な対策を取っていない場合は、その場での注意・指導の外に、内容に応じて文書指導・注意を行うとともに、必要な措置等を検討し、対策を講じることとしました。

(5) まとめ

「事故ゼロ」にはグループ全員の安全意識の共有が不可欠ですが、特にリーダーは、安全就業を推進する中心的な役割を果たさなければなりません。活動支援費の見直しに伴い、リーダー職務を明確化し、具体的には「作業前・後のミーティングの徹底」と「就業中の安全対策及び実施状況の見回り」を重要な職務としたところであり、実施の徹底をお願いします。事故を減らすには近道はなく、地道で着実な取り組みが必要であります。全ての職域班として、また一会員として、事故ゼロを目指していきましょう。

事故発生状況について

前号発行後、傷害事故1件が発生しました。

[脚立からの転落事故 (1月26日)]

5m程度の松の木の剪定を、8尺脚立に上り、行っていた。脚立から下りようとした際、脚立がふらつき、8尺脚立の上から4段目から転落し、左後頭部を松の幹で強打し、頭部裂傷を負ったもの。

本件は、作業中、被害に遭った会員だけでなく、他のグループ員もヘルメット及び安全帯を使用していませんでした。転落した場所のすぐ近くには敷石があり、その上に転落していれば、重篤事故に及んだ可能性が高かったと考えております。当該会員及びグループ員への注意・指導とともに、その日の内に剪定班へは連絡網で情報を伝達し、ヘルメット及び安全帯の着用等の徹底について、注意喚起を図りました。